

RyuMIC PROGRAM 2017

RyuMIC研修医の声 プログラム「ていだ」

おやふそ さやか

2年目 親富祖 さやか
No. 2



プログラム「ていだ」は8ヶ月琉球大学附属病院で研修すれば市中病院での研修の選択ができるという自由度の高い研修が可能です。

私は、内科・外科・麻酔はじっくり大学病院で学び、救急はもっと多くのcommonの症例数や手技を経験したかったため市中病院で救急研修をさせてもらいました。科によっては大学病院か市中病院で経験症例数や手技の経験数が違うことがあります。

実際、私は一年目の研修期間中に同期や先輩、また外病院から研修に来ている先生方と情報交換する中で、やはりcommonの症例を見たかったため、指導医の先生の評判や指導体制が整っていると思った科を市中病院に変更したことがあります。個人の希望に見合った研修が選べる融通の効く研修制度だと思っています。私の場合は、将来進みたい科をまだはっきりと決めていないため、初期研修期間中は満遍なく色々科を周ることにしました。どの科も充実していましたが、2年目の残りの4ヶ月を初期研修の集大成として市中病院の救急3ヶ月と大学病院の麻酔科1ヶ月を選択しました。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	第二内科		第一内科			麻酔		救急 ハートライフ病院		小児科		第一外科
2年目	精神	産婦	眼科	第三内科	地域医療	皮膚那市	第三内科		救急 ハートライフ病院		麻酔科	

研修の選択の仕方は人それぞれです。ある同期は2年目の上半期まで経験すべき症例数を取るべく、必修科の研修を終わらせた後、残りの下半期を後期研修で研修する科の研修を選択しています。またある同期は研修期間中に産休をとり、産休に入るまでの研修期間中は体への負担を考えた研修科目の変更を行っています。育休とっている先輩医師もいて、育児と仕事の両立に頑張っています。研修医や指導医の先生の多い大学病院だからこそ、女性医師にとってライフプランに合った研修を選択できやすいことも大きな利点だと思います。